

## 2013年7中部品質工学研究会 議事録

- ◆ 日時:2013年7月6日(土) 10:00~16:00
- ◆ 場所:中部品質管理協会会議室
- ◆ 参加者(敬称略):井上、伊藤、大見、杉浦、山口、池田、川畑(記)
- ◆ 内容

### 1. 事例研究①

品質工学研究発表大会での事例について

【事例概要】床面の水はけ評価にて、従来の官能評価から定量化し、評価期間の短縮を図った事例。床に残った着色水を画像として処理し、標準SN比で評価している。

【議論】望小もありでは？⇒技術的に考えるならば他への転用も考慮し、機能を考慮するのがよい(目地も含めるか?)。標準SN比で評価しているが、充放電機能と同じで、exp.で解析すれば直線になるのではないか。

その際の $\beta$ がチューニングの指標。製品の用途を考えるなら制御因子も必要と考えられる。(今回は部分的な公開か)

### 2. 事例研究②

機能性材料の評価方法について議論。内容は割愛する。

### 3. 事例研究③

止水弁の評価方法について

原先生の事例で、マクスウェル方程式を使用してソレノイドの二度打ち防止を評価した事例があるが、詳細不明。

圧力差を測定するのは困難。弁機構内の径の差で観るのもよいのではないか。ダーリントランジスタのようなスイッチングに近いと考えられる。

※基本機能を考えるには、本質を論じている物性論、固体物理の応用を考えると良い。

### 4. 話題

近直交表L12について。

直交性が崩れているため補正計算が必要。足りない自由度を設定し、出力に逆行列をかけると要因効果図が描ける。

### 5. イノベーションを生む商品開発について

T社の事例で、まずは現状把握。S字カーブの連続で売り上げを上げるようなパターンではない。どのような方向性でいくのか、詳細なアプローチ(SWOT、QFD等)は次回以降で行う。

### 6. 事務連絡

- ・副幹事を決定。横尾氏と牧野氏
- ・会員募集、他研究会との連携も視野に入れ、門戸を開いておく。

以上